

iU×墨田区が実証研究としてLuupと連携し、安全講習会を開催 -産官学連携で、新しいモビリティの安全な利用とルールの周知を促進-

iU(情報経営イノベーション専門職大学、東京都墨田区、学長:中村 伊知哉、<https://www.i-u.ac.jp>)は、墨田区との実証研究の一環として、株式会社 Luup(本社:東京都品川区、代表取締役 CEO:岡井大輝、以下「Luup」)と連携し、2026年3月7日(土)に開催されたUDC すみだ主催の区民向けイベント「春のキャンパスコモン 2026」にて、マイクロモビリティの安全な利用普及を目的とした安全講習会を実施しました。



■ Luup×iU「安全講習会」実施概要

iUは、墨田区との地域連携協定に基づき、これまでも様々な地域活性化、実証研究を行なっています。今回の取り組みは、実証研究の一環である「次世代型モビリティの活用促進に向けた業務委託」に基づき、Luupとの連携により実施したものです。iUとLuupは、これまでも学生らによるモビリティを通じた墨田区の交通課題の解決、地域活性化などに取り組んでいます。今回の安全講習会は、その活動の一環として、マイクロモビリティの安全な利用普及を目的として「春のキャンパスコモン 2026」で実施されました。

Luup は“街じゅうを「駅前化」するインフラをつくる”をミッションに掲げ、事業を通じて日本各地の移動課題を解決すべく、2020 年よりマイクロモビリティシェア「LUUP」を展開しています。電動・小型・一人乗りのモビリティを包括的に取り扱うことで、ファースト・ラストワンマイルの移動手段を確立し、全ての人が自由に移動できる未来を目指しています。

iU は今後も Luup と連携し、地域の皆様に交通ルールを遵守いただき、安全かつ適切にマイクロモビリティご利用いただくための啓発活動と同時に、墨田区の交通課題の解決や地域活性化に向けた活動を継続してまいります。

日程: 2026 年 3 月 7 日(土)10 時 30 分～15 時 00 分

場所: キャンパスコモン(墨田区文花 1-19-1)・iU(墨田区文花 1-18-13)

内容: マイクロモビリティの安全な利用普及を目的とした安全講習会やご利用ガイドブックの配布

■「春のキャンパスコモン 2026」イベント概要

名称: 春のキャンパスコモン2026

日程: 2026年3月7日(土)10:30～15:00

場所: キャンパスコモン・iU・千葉大学墨田サテライトキャンパスほか(墨田区文花1-19-1)

主催: UDCすみだ

共催: 墨田区

後援: 千葉大学・iU

内容: ミニSL運行、ステージ企画、ワークショップ、姫まつり(フード・ドリンク)、千葉大学卒業展示、LUUP × iU安全講習会

■株式会社 Luup 会社及びサービス概要

【会社概要(URL:<https://luup.sc/>)】

・所在地: 東京都品川区西五反田八丁目 9 番地 5 号 FORECAST 五反田 WEST 7 階

・代表者: 岡井大輝

・創業: 2018 年 7 月

・アプリダウンロード URL: <https://ride-your-city.luup.sc/Myjb/cfcdb04a>

※LUUP アプリは、iOS 16 以降、iPhone 8 以降 (iPhone SE 第 1 世代を除く)、Android OS 10.0 以降の端末でお使いいただけます。アプリを最新にアップデートの上、ご利用ください。

【サービス概要】

・内容: マイクロモビリティシェア

・詳細: スマートフォンアプリ「LUUP」を用いて、電動キックボードや電動アシスト自転車に乗車し、街じゅうにあるポートからポートへの移動ができます。

・ご利用料金: ライド基本料金 50 円(税込) + 時間料金 1 分あたり 20 円(税込)

※一部地域では料金が異なります

・電動キックボードのご利用について: アプリから①年齢確認書類の登録と②交通ルールテストの連続満点合格が電動キックボードのご利用条件となります。

・保険: 電動キックボードや電動アシスト自転車に乗車中の事故における、対物賠償、対人賠償、ご自身のお怪我が補償の対象となります。

<https://support.luup.sc/hc/ja/articles/360051962573>

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆう）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

起業率全国1位（iU独自調査）、起業数は全国8位（経済産業省調べ）の、在学中に学生が起業に挑戦する大学。ICT・ビジネス・グローバルな視点について学び、新しい時代を創る人材を育成。さらに必修科目として約4か月間の臨地実務実習も経験し、将来の起業や就職を見据えたキャリアビジョンの具現化につなげている。

iUホームページ：<https://www.i-u.ac.jp/>

■学長

中村 伊知哉（なかむら いちや）



京都大学研究員、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、Web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。

プロジェクト授業、4ヶ月の臨地実務実習、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。起業数85以上、起業率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。結果、2期生の就職率99.1%。

連携企業700社以上、さらに業界を牽引するプロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等100以上のプロジェクトが走っている。

eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設けている。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、あたらしい？それ、おもしろい？

■所在地

・墨田キャンパス：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：墨田キャンパス
右：サテライトオフィス

・学生数：655名 ・基幹教員数：31名（2026年2月末時点）

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■学びの特色

「ICT」「ビジネス」「グローバル」この3つが学びの柱

①アプリ設計・開発、データサイエンスなどの技術を修得する【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける
プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

②組織管理やマーケティング、会計・財務などを学ぶ【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習
さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

③国際感覚や語学力を自分のものにする【グローバル】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

現場で学び、起業で挑む。600時間の実習×全員起業プログラム

- ・臨地実務実習とプロジェクト実践演習：1人600時間の臨地実務実習、実在するサービスの事業展開やリアルな社会課題の解決などに取り組むプロジェクト実践演習を実施
- ・全員起業：全員が在学中に起業に挑戦。必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じてリアルなビジネスの立ち上げを経験し、社会で即戦力となる力を育成。希望者には事業化支援・資金提供・登記サポートも完備。

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp